

全国農政連推薦・県農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

「国会も終盤戦を迎え」
【日本農業の行方は】

1月に召集された通常国会も会期末まで一カ月を切りました。参議院でも連日のように法案審議が開かれ、どこか張り詰めた緊張感が広がっています。

先般、農林水産委員会にて「みどりの食料システム戦略」に関する法律案が議論され、私も質疑に立ちました。

本戦略では意欲的な目標を掲げる一方で、生産現場との認識にギャップがあります。環境負荷軽減に向けて肥料・農薬の削減に取り組みますが、農産物の見た目や品質には大きな違いが出るものではないかと。実際に取り組みを行うにあたり、果たして本戦略は収支に見合う経営に繋がるのか不安視する声もあります。ましてや、消費者からすれば本戦略の具体化が見えにくい問題が生じています。

環境と調和のとれた食料システムの確立の実現には、農業者だけではなく、消費者や食品事業者など幅広い関係者の理解が重要となります。安定した農業経営の持続と食料の安定供給を確保する上でも、生産現場の努力を消費者などに適切に評価され、再生産可能な価格で販売・消費されることが極めて大事になります。

【選挙対策事務所の開所】

4月3日、県内の桜が満開に咲き誇

る日に藤木しんや選挙対策事務所を開所しました。新型コロナウイルス感染症防止対策による人数制限もあるなか、国会議員、県議会議員をはじめ、農政連関係者、各種推薦団体など、約170名近くご出席いただき、無事に執り行うことができました。

多彩な農畜産物が生産されている熊本県。これから先も県内の農業生産の基盤強化と農家所得の安定的な確保を着実に進め、地域農業を支える多様な担い手を守っていかなくてはなりません。まだまだ、国政で果たすべき仕事は山積みであります。2期目の挑戦に向けて「農家の声を国政に！」をモットーに精進してまいります。お時間がある際は、是非お立ち寄りいただければと思います。

■場所：上益城郡嘉島町上仲間上川原 829-1-2

（パチンコ大劇嘉島店の南側になります）
TEL：096-285-1031



▲選挙事務所開きにて

全国・県農政連推薦

参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

「国会で初めて」

農林水産委員会の
質疑に臨みました」

私は水田農業の分散錯圃をどう克服するかということや、担い手の圧倒的な減少、米価の低迷について全国から悲鳴が伝えられていることを冒頭に訴えた上で、中山間地の基盤整備と圃場面積の拡大は容易でなく、これらの対策について質疑しました。

金子農林水産大臣からは、中山間地の圃場整備の面積要件を平地が20ヘクタールのところ10ヘクタールに緩和していること、農地中間管理機構事業についても受益面積要件を10ヘクタールから5ヘクタールに緩和していること、さらにはこの圃場整備事業の補助率を平地が50%のところ中山間地では55%とかさ上げし、農家の負担率も平地が12.5%のところ中山間地では7.5%と軽減していることなどが示されました。

また故郷の中山間地の分散した狭小な農地の集約化が容易でないことから、この対策をどう進めるのかということについても質疑しました。その中で私が見聞した中山間地の畑に、広大な太陽光発電施設が設置された結

果、施設の下の方の砂が流れ、川が埋まってしまっている状況を報告し、自治体や所有者、耕作者、担い手グループ、法人などが一体となって知恵を出し、地域の取り組みを支援する全国運動を展開する重要性を訴えました。

これに対して金子農林水産大臣は、今回提出した法案で市町村が農業者、農業委員会、農地バンク、JA、土地改良区といった関係者の話し合いを踏まえて将来の地域計画を定め、その実現に向けて農地バンクを活用した農地集約を進めるべく、国としても市町村長の取り組みを支援し全力をあげることを明言されました。

大賛成です。きちんと理念を持った取り組みを進めましょう。



▲農林水産委員会にて